

「ならなぎ よりみちクラブ」活動報告

報告者： 樋野 巧

日時	2023 年 1 月 18 日 (水) 10 時 00 分 ～ 15 時 00 分	天候	曇晴れ	コース名： 第 36 回よりみちクラブ
案内団体 又は催事 名	歴史散策一枚方宿から百済寺跡へ			人数 大人：21 名

集 合：京阪 枚方公園駅前 10 時

ガイド：枚方観光ボランティアガイドの会 川村氏 田中氏

行 程：枚方公園駅西口～西見附～鍵屋資料館～鮎番所跡～木南邸～浄念寺～問屋場跡～願生坊・大隆寺
～御茶屋御殿跡～意賀美神社～旧森繁久彌邸～ムクノキ～岡本町公園～宗左の辻～小野邸～東見附
～禁野本町遺跡～殉職者慰霊碑～中宮平和ロード～百済寺跡～百済王神社～京阪宮之阪駅

参加者：義田・上森・堀内・澤井・村上・玉尾洋・森・嶋村・玉尾ひ・久賀田・田中・樋野・奥山・
山田一・近野・山下み・竹山・武田・神田・北川・嶋田 21 名

10 時 京阪枚方公園駅 西ロータリー案内板前でコース概要説明。二班に分けてスタート。

枚方宿は 56 次とされる：京街道の宿場。東海道は 53 次(1601 年整備) →57 次となる。
1628 年に全体整備。(大津→)伏見→淀→枚方(56 次)→守口→高麗橋(終点)

10：12 西見附：宿場の出入り口、もともとは見張り所。見附は江戸城には 36 か所あったという。
高札場もあり。枚方宿には 4 村あり 西見附から東見附まで約 1.5km あった。街道の道幅 3
間 4.5m あった。

10：10 市立枚方宿鍵屋資料館：主屋は 1811 建立。船待宿 伏見と八軒屋の中継地として栄えた。
鍵屋の言伝えでは 400 年前からの営業としている。「くらわんか船」の伝承
主屋に むくり屋根 うだつ(袖うだつ)と引き上げ扉(ジャッター)あり。幕末には明治天皇が枚方宿
を訪れている。但し 宿舎は本陣であった。

鍵屋は もともと 1997 年まで料理旅館・料亭として営業。2001 年に資料館として開館。

11：00 木南邸：千早赤阪の楠木氏の末裔とされている。枚方市最大の庄屋の民家で表屋づくり、江戸
末期から明治初期に造られた。金融業：蔵が五個あった庄屋・大地主。

11：10 船番屋跡：江戸時代中期以降 三十石船の乗客や荷物をチェックした。三十石船は定員 28 名
船頭 4 名 舟賃下り(半日)72 文 登り(一日)172 文。

部切船(へぎり船)・肥え船・糞尿売却代は大家の収入(年 3 両約 30 万円程度)となった。
江戸時代の長屋・一室(土間 1.5 畳 居間 4.5 畳)

11：15 浄念寺：蓮如の弟子浄念が 1495 年に創建した。西本願寺の門跡御坊で菊文の瓦がある。

11：20 問屋場跡(とんやば)：枚方 4 村の荷物引継所。馬 100 頭 人足 100 人を揃えていた。

京阪電車効果を南に向かい 蔵の谷(旧枚方寺内町)に入る。

願生坊：蓮如の 13 男実従が 1559 年に住持となった順興寺を 焼失後 教如が願生坊として
再建したという。大隆寺：1570 年の大火の後 油屋の跡に創建された法華宗の寺。

11：35 御茶屋御殿跡：秀吉が建てたとされる御殿の跡 秀忠や家光が逗留した。1679 年に焼失。
戦国時代の監視所だったのでではないかと推定される。

御殿跡内に 古墳時代前期に築かれた万年寺山古墳もある。青銅鏡 8 面が出土している。

11：45 万年寺山：万年寺は神仏分離令で廃寺され、仏像は浄念寺へ移された。十三重塔のみ残る。

11：50 意賀美神社：神仏分離令で地域の 3 社が合祀し意賀美神社とした。拝殿の屋根に 3 社の家紋
(三つ葉葵、五三桐 木瓜)がある。境内に和算の算額が保存されている。

森繁久彌旧生家：石垣に囲まれた広大な屋敷、今は谷という方が住んでいるらしい。

河内鋳物師田中家の大ムクノキ：樹齢約 600 年 大阪府の天然記念物。但し 残念なことに
樹の勢が無い様に見えた。

12：05 一乗寺：もとは京都の一乗寺。応仁の乱後に移ってきたという。本田政康の墓がある。

- 12:10~13:00 岡町公園 昼食
- 13:05 宗左の辻：京街道と磐船街道の分岐点。角野宗左という油商人の屋敷があった場所。石碑は 大阪八軒屋(和泉屋、近江屋、錦屋、小豆嶋屋)旅籠衆の旅人の安全祈願の碑。
- 13:15 小野邸(旧脇本陣)：明治18年の大洪水では 天井まで浸水したという。
東見附：天の川の左岸。参勤交代の大名用の木橋もあった。
- 13:20 かささぎ橋：枚方・交野一帯は七夕伝説の地。一里塚跡
- 13:40 禁野本町遺跡説明板：弥生時代から近世までの複合遺跡。弥生後期から古墳時代前期頃の竪穴住居跡や古墳、平安時代の掘立柱建物跡、井戸、多種類の焼き物が発掘されている。
禁野火薬庫トロッコ転車台跡：枚方市内に火薬庫など3か所の施設があった。弾薬等を運搬していたトロッコを線路交差部で方向転換する転車台の基礎とコンクリート製枕木が残っている
- 13:50 消防士殉難碑：1939年(昭和14年)の火薬庫大爆発における消防士の犠牲者の慰霊碑
枚方合同宿舎内の禁野本町遺跡説明版：センペルセコイヤ：北米原産 世界最大級の木
- 14:00 中宮平和ロード：火薬等を運搬した鉄道線路の跡。現在では 平和ロードとして 道路の中央に様々なモニュメントを展示する歩道が通っている。枚方名物菓子店いそもち「十久堂」
- 14:15 百済寺公園：枚方八景 国の特別史跡百済寺跡。特別史跡は全国で60数か所大阪府下では大阪城と百済寺跡の2か所しかない。寺域は140m四方で、東西に塔がある薬師寺と同じ伽藍配置。百済寺の北方面は 平城京のような方形の街並みがあったとされる。この地は周囲に比べ高台で、淀川、京都・男山方面、天の川・生駒山、河内湖、北摂が一望できる戦略的な場所。公園は、整備前 鬱蒼とした、入るのが怖いほどの林だったことを覚えている。
- 14:30 百済王神社：8世紀の百済王氏が、百済寺と共に創建したとされている。百済王敬福が陸奥国の砂金を朝廷に献上した。その功により河内守に任じられ、居館を難波から河内に移した。氏寺、氏神として造営したと考えられている。本殿は、200年前に春日大社本殿を移したもので一間社春日造り(春日移し)
- 15:00 終礼 解散 → 京阪宮之阪駅 京阪枚方市駅へ 以上

(所感・雑感・反省点、申し送り事項など)

- ・ボランティアガイドお二人の説明は 詳しく且つ判りやすかった。
- ・江戸時代の街道、川筋の様子から始まり 昭和の戦前の火薬庫大爆発、大仏鍍金用砂金でお馴染みの百済王氏と大いに興味が注がれる遺跡ばかりであった。しかし 火薬庫の爆発事故は、百人以上が亡くなっているのに、殆ど知られていないのではないか。
- ・歩行距離は5~6kmの予定のはずが、かなり歩いたように思われる。(9km余りか)
- ・枚方銘菓 「あかつき」(呼人堂) 「いそもち」(十久堂)

(特記事項)

ガイド料 ￥200x21=¥4200
鍵屋入館料 ￥200x21=¥4200
ガイド昼食費 ￥500X2人=¥1000

参加者より¥400 集金

ガイド昼食費は、よりみちクラブ余剰金より出費

